

たより

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

平成 23 年 9 月 13 日発行

伊勢市教育研究所
伊勢市小俣町元町 5 4 0 番地

研修講座へのご参加ありがとうございました

夏季休業中の研修講座に、多数ご参加いただきまして、ありがとうございました。

アンケートには、「参加してよかった」「ぜひ授業に活かしたい」という声をたくさんいただきました。来年度も、アンケート結果を参考に、教職員の皆さんの要望に沿った講座の開設に努めてまいります。また、秋からは、委託研究に伴う公開授業、教育支援センター連携講座などが予定されています。ぜひ多数ご参加ください。

研修講座より . . .

8 月 10 日(水) 特別な教育的ニーズのある子への支援を考える

講師：大正大学教授 玉井邦夫先生

「途切れのない発達支援」講演会、特別支援教育コーディネーター及び学習支援員研修会を兼ねた特別支援教育研修講座として、大正大学の玉井邦夫先生をお招きし、ご講演いただきました。玉井先生は、全国各地でご講演される他、多数のご著書を執筆され、NHK など数々の番組にも出演なさっています。本講座では、特別支援教育の構想、仕組みづくり、支援の組み立てといった理論的なお話と、子どもへの関わりの手がかり、保護者とのコミュニケーションなどの日常のお話をさせていただきました。



参加者の感想

具体的な話もあり、とてもわかりやすかったです。子どもの支援の仕方について、もう一度考え、これからにつなげていきたいと思いました。

とてもわかりやすいお話でした。特に困り感を抱える子どもたちの居場所を作るために学級集団をどう育てるかということ、改めて考えさせられました。

支援の捉え方や仕組み、方法などが具体的なお話でとてもよくわかりました。子どもや保護者との関わり、一つひとつを大切にしていきたいです。



約 320 名もの方に
参加していただきました。

【玉井先生の資料より】

子どもへの関わりの手がかり

- ・感情のコントロールのために、人間性と問題性を切り離して考えること
- ・感情のコントロールは思考と感覚の両面で行うこと
- ・行動の目標は具体的で肯定的であること
- ・「だめ」よりも「選択」
- ・「困った」行動と両立できない望ましい行動を作る
- ・望ましいと考えている行動は、子どもにとってユニットになっているか？
- ・「持ちこたえている他の子ども」への配慮の大切さ

8月8日(月) 評価から見直す外国語活動

講師：文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所教育課程調査官 直山木綿子先生



昨年度に引き続き、直山木綿子先生にお越しいただき、「評価から見直す外国語活動」という演題で、具体的な評価法、授業で大切にしたい視点を教えていただきました。

参加者を小学生と見立てた模擬授業では、単語やフレーズに慣れ親しませるための活動や楽しいゲームを実際に体験しながら、活動の進め方について学ぶことができました。

また、英語ノートが今後どう変わるかということ等についての最新情報も伺いました。



(教えていただいたゲームは、笑顔のこぼれる楽しいゲームばかりでした。)

参加者の感想

昨年も直山木綿子先生の講座に参加させていただきました。外国語の楽しさと大切さをていねいに教えていただくことができ、今年も参加できたことをありがたく思っています。私にとっては、外国語はとても難しいものですが、楽しんで勉強させていただくことができました。ありがとうございました。

評価、目標、指導の一連を見直し、評価を考えていこうと思いました。体験を取り入れての講座は、とてもわかりやすいです。

どのように評価していこうと悩んでいたのが、具体的なお話で少し先が見えてきました。ただ、授業中は慣れない外国語活動をどう組み立てるかに追われ、ドキドキしている状態です。もっと準備をしっかりと、気負わず、自然体で授業をし、子どもたちの活動、表情を見られるようにしていきたいと思えます。ありがとうございました。これからはしっかり記録をとっていきます。直山先生のいつもわかりやすいお話や授業、ありがとうございました。いつもながら次にする外国語の授業が楽しみになります。子どもたちとともに、楽しみながら、しっかりとめあてや考えを持って、外国語の授業を仕組んでいきたいと思えます。

昨年も来ましたが、新しい内容を加えてお話ししていただき、大変勉強になりました、今回は評価について知りたかったので、ありがたかったです。

大変楽しい話術で、引き込まれながら、大事なポイントを教えていただきました。外国語活動に対し、とても不安がありましたが、授業の例も実演していただき、役立ちます。ありがとうございました。新教材についての正確な情報もありがたかったです。

次の機会もぜひ、直山先生をお願いします。

(直山木綿子先生のご著書は、教育研究所にもあります。ご利用ください。)

- ・英語ノート1を活用した英語活動の授業 DVD付き
- ・英語ノート2を活用した英語活動の授業 DVD付き
- ・小学校新学習指導要領の授業 外国語活動実践事例集
- ・小学校新学習指導要領の授業 外国語活動実践事例集

他の講座につきましても、次号たよりで受講者の感想を紹介させていただきます。

伊勢市教育支援センター「NEST」から



今回は[NEST]での体験活動について紹介します。



7月に体験活動の一環として「奥伊勢フォレストピア」でパン作りなどの体験をしてきました。

当日は青空の広がるとても気持ちの良い天気でした。

子どもたちは「どんな形のパンにしよう？」などと楽しくおしゃべりしながらバスの中で過ごしていました。

この「奥伊勢フォレストピア」のパン作りは、自分で強力粉と水を混ぜるところからスタートします。水が入った強力粉は手にべったりとくっつき、なかなか思うように混ぜる事ができません。悪戦苦闘しながらもこね続けると、次第に手や指から離れ、生地がまとまってきます。その後、生地にバターを混ぜて、また生地をこねます。そうするとぬるっとした感触になり、通級生達は「ぬるぬるする～！」「気持ち悪い～！」と言いながらも、楽しそうにこねていました。生地を醗酵させた後、いよいよ形成です。かめやさくらんぼ、うさぎなど思い思いの形のパンができあがりしました。焼く前よりずいぶん生地が膨らみ、予想していない形になったパンや、目や口に見立てて付けたチョコチップやレーズンがとれてしまったパンを見てみんなで大笑いしました。

また、パンが焼きあがる間に、裸足になって川の中に入ったり、魚釣り体験をしたりと、普段できない体験をたくさんすることができました。自然と笑顔になっていた子どもたちが印象的でした。



「NEST」は、「学校へ行きたい。」または「行かなければならない。」と思っても、行くことができずに悩んでいる子どもたちのためにあります。

これからも、いろいろな体験活動を計画し、子どもたちが生き生きと活動できるように支援していきたいと思えます。